

# 基本施策評価シート

基本施策最終評価

B

基本施策通し番号 25

基本施策 中心市街地の活性化

構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	越前おおの結ステーションを中心とした周辺広場などの利活用	B
施策2	”まちなか”満足度の向上	C
施策3	魅力ある商店街の形成と商業の活性化	C
施策4	歴史的なまち並みの保全や観光施設の整備	B
施策5	集約型まちづくりの推進	B

## 成果指標

指標	内容	令和2年度 目標	令和元年度末 実績	単位	令和元年度の成果の検証
市街地の観光入り込み客数	大野市を訪れる観光客の総数のうち、市街地への年間入り込み客数	88	82.9	万人	夏休み期間の8月及び秋の行楽シーズンの10月に大型台風が発生し昨年度と比較して市街地への入込が減少した。
歩行者通行量	まちなか7地点における歩行者通行量(秋・イベントのない休日)	5,000	3,079	人	3年連続で4,000人に到達しなかった。歩行者通行量は天候による影響が大きく、観光客などがまちなかを巡る新たな工夫が必要である。

## 後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地においては、人口減少、高齢化が進展し、空き地や空き家が増加している中、各個店においても、後継者が不足し事業主の高齢化が進展している。</li> <li>・今も残る城下町のまち並みは、大野市の貴重な資産であり宝で、「天空の城越前大野城」のふもとに広がる城下町はイベントなどを展開するフィールドとなっている。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・越前おおの結ステーションを中心とした周辺広場などを十分に活用し、賑わい創出のための取り組みをさらに進める必要がある。併せて各個店による商品開発や、もてなしの充実を通じて、魅力ある人・モノ、きっかけの提供などを促進することで、市街地に足を運ぶ機会の充実を図り、滞在時間を延ばす工夫が求められている。</li> <li>・住宅や店舗などの郊外立地が進み、市街地が拡散することは、居住者の生活を支えるサービスの低下につながる可能性があり、今後も持続可能なまちづくりを行うため、人口減少時代に対応できる維持管理コストの少ない機能集約型のまちづくりを推進する必要がある。</li> </ul>

## 社会情勢・市民ニーズの変化

- ・増加傾向にあった市街地の観光入り込み客数も落ち着きを見せ始め、「天空の城」以外の大野の良さや魅力を掘り起こし、発信していかなければならない。
- ・商店街には高齢化・後継者不足が深刻な店舗が多数ある。そのようななかで、商店街や地域に入り込み、課題解決のための活動を行う民間事業者が出てきている。

## 現在の「現状」と「課題」

現 状	令和元年度は、大型台風などの影響により、中心市街地への入込数は減少したが、これまで、中心市街地の整備や季節毎のイベントの開催などにより、中心市街地への観光客数や歩行者通行量については、一定の成果が出てきていると考える。 商店街においても、新規創業や店舗改装などの取り組みが見られ、空き家を活用した施設整備や新たなイベントなどの取り組みもあるほか、COCONOアートプレイスでの文化企画事業なども実施した。
課 題	中心市街地の観光入り込み客数の令和2年度目標88万人を達成するためには、さらなる工夫が必要な状況であるため、中心市街地ならではのさらなる魅力を創造し、観光客はもちろん、市民も行きたくなるような場所となるよう取り組みを進めなければならない。 高齢化・後継者不足による個店の廃業などによって、中心市街地の経済活動が縮小することに対する支援が必要である。 中心市街地を訪れる観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額を上げていくことが必要と思われる。

## 基本施策の「成果」

成 果	中心市街地の整備や季節毎のイベントの開催などにより、令和元年度の中心市街地への観光入り込み客数は82万9千人となっており、第1期の中心市街地活性化基本計画策定時の平成20年(40万9千人)に比べ大幅に増加している。 城下町の風情ある町並みと美しい自然景観は大野市の魅力であり、景観向上への支援は、中心市街地の活性化や来訪者の増加に繋がっている。 こうしたこともあり、まちなかでの若者のイベント活動などが盛んになり、新規創業や店舗改装に繋がっている。
-----	--

## 改善点

- ・土産品や飲食など観光産業等への起業を目指す事業主を対象とした創業セミナーや経営指導などの質を上げていくため、各支援関係者との連携を強化する。
- ・空き家空き地の利活用方法について、古民家再生宿泊施設の整備やIT企業のサテライトオフィス誘致など、民間と連携した取り組みを継続する。
- ・キャッシュレス化、Wi-FiなどのIT環境の整備を促進し、来訪者が過ごしやすい環境を整える。
- ・既存コンテンツを磨き上げると同時に新たなコンテンツを発掘し、中心市街地の魅力を効果的に市内外に情報発信する。
- ・朝市の活性化に向けて関係者と協議をする。